

(財)農民教育協会 鯉淵学園農業栄養専門学校概要 (平成22年度)

1. 場 所 茨城県水戸市鯉淵町 5965
2. 面 積 49.5 ヘクタール
3. 設置形態 専修学校 (茨城県知事認可)
 農業者研修教育施設 (農林水産大臣認定)
 栄養士養成施設 (厚生労働大臣認可)
 特定公益増進法人 (農林水産大臣認可)

4. 建学の理念

- ・ヒューマニティを基調とした、広い視野と科学的な考え方と実践力を育成する
- ・多数の人々と協力して農と食の改善発展に寄与できる指導力を育成する

5. 教育組織

食農環境科 (高校卒・2年制) (有機農業コース, アグリビジネスコース)	入学定員 90名
食品栄養科 (高校卒・2年制)	入学定員 40名
研 究 科 若干名 (旧課程)	
農業経営科学科 (高校卒・4年制) (作物・園芸コース, 畜産・加工コース)	入学定員 80名
生活栄養科学科 (高校卒・4年制)	入学定員 40名

6. 主な取得資格

- 2年制課程修了者には「専門士」の称号が授与される。
 食品栄養科卒業生には栄養士資格が授与される。
 (旧課程：4年制修了者には「高度専門士」の称号が授与される。)
 (生活栄養科学科卒業生には、栄養士資格と1年間の実務経験の後管理栄養士受験資格が授与される)

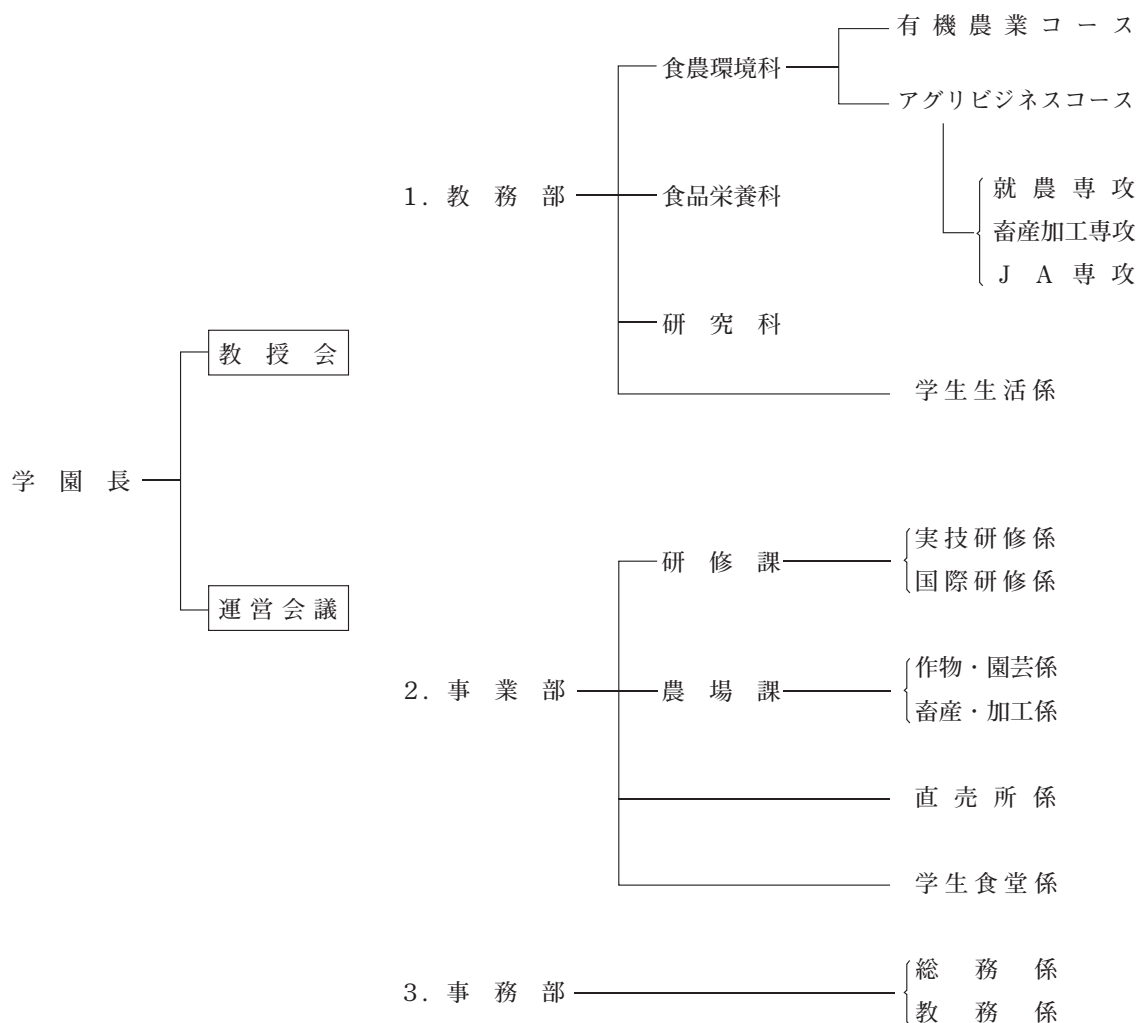
7. 在籍学生数 (平成22年4月8日現在) ()内は女性で内数

	1年	2年	3年	4年	合 計
食農環境科*・農業経営科学科**	47 (11)	12 (1)	25 (5)	24 (3)	108 (20)
食品栄養科*・生活栄養科学科**	32 (28)	32 (25)	14 (11)	24 (19)	102 (83)
小 計	79 (39)	44 (26)	39 (16)	48 (22)	210 (103)

* 1～2年次

** 3～4年次

8. 管理運営組織



(財)農民教育協会 会長 茂木 守 理事長 高橋 隆三
 学園長 井上 隆弘
 教務部長 山本 英治
 事業部長 小沼 和重
 事務部長 北川 晴三

9. 職員数 (常勤職員 53名)

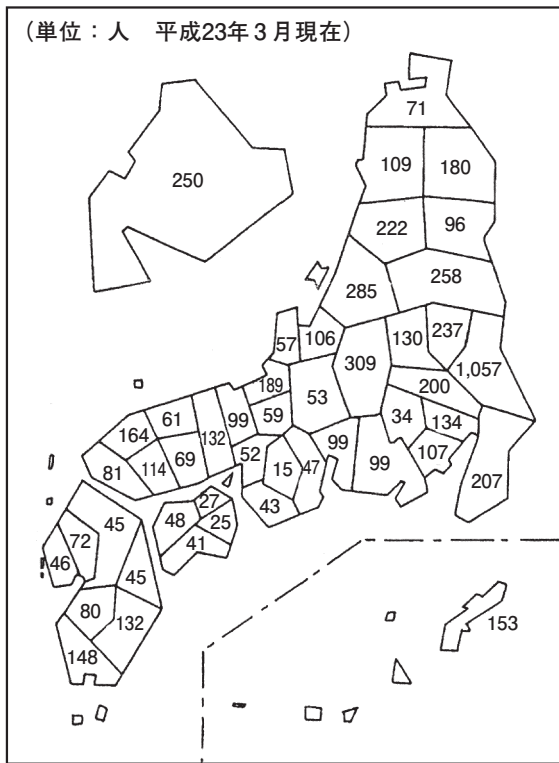
学園長	1名		
教育職員	34名		
教授	13名		
准教授	7名		
講師	4名	講師 (実習専任)	7名
助手	2名	助手 (実習専任)	1名
事務職員	19名		
主事	5名		
主事補	14名		
非常勤講師	48名		

10. 主な教育・研修施設（農場部を除く）

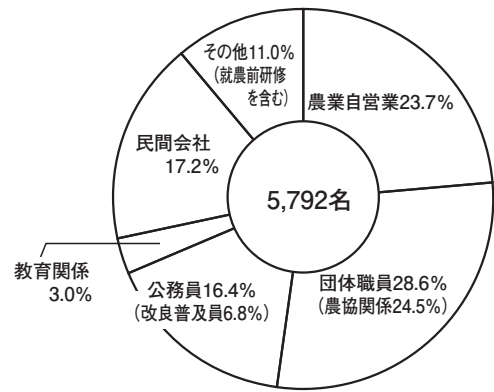
総合教育棟	1棟 (702㎡)	教室棟	3棟 (1,610㎡)
実験・研究棟	1棟 (872㎡)	生物工学実習棟	1棟 (180㎡)
調理実習棟	1棟 (176㎡)	生活実習棟	1棟 (245㎡)
畜産加工棟	1棟 (168㎡)	食品加工棟	1棟 (105㎡)
図書館（情報教室付設）	1棟 (615㎡)	体育館	1棟 (814㎡)
購買部	1棟 (59㎡)	男子学生寮	7棟 (3,196㎡)
女子学生寮等	6棟 (2,338㎡)	女子寮内浴場等	1棟 (169㎡)
学生食堂	1棟 (643㎡)	学生集会室	1棟 (108㎡)
食品総合実験棟	1棟 (307㎡)	体験学習棟	1棟 (168㎡)

11. 卒業生の状況

全国に広がる卒業生のネットワーク



卒業後の進路



注①卒業時調べ。
 ②昭和61年度からは普及専攻科卒業を含む。
 (平成23年3月現在)

卒業生就職状況（卒業時調べ）

卒業生 (平成)	農業自営		団体職員		公務員		教育関係	民間会社	その他		合計
	自営	法人	農協職	その他	普及員	その他			A	B	
18年度まで	1,324		1,403	233	395	554	153	863	572		5,497
19年度	13	5	4	1	0	2	7	32	2	5	71
20年度	9	5	6	1	0	2	6	27	1	14	71
21年度	6	4	4	0	0	0	3	28	0	17	62
22年度	4	5	3	0	0	0	3	47	0	29	91
合計 (%)	1,375 (23.7)		1,420 (24.5)	235 (4.1)	395 (6.8)	558 (9.6)	172 (3.0)	997 (17.2)	640 (11.0)		5,792 (100)

注 ①「その他A」は、国内または海外の研修に出た者で、農業自営志向者であり、将来「農業自営」に加わると見られる者。

②「その他B」は、卒業時進路未決定者。

12. 開設授業科目

食農環境科

基礎分野

情報処理基礎, 社会活動, 進路, 生物

専門分野

作物栽培, 有機農業1・2・3, 畜産, 農業経営, 新規就農, アグリビジネス論, 農業簿記演習, 農業政策・農畜産物流通, 農業簿記演習, フードシステム, 食品衛生, 資源循環, 環境保全型農業, 農産物の安全, 食用作物, 農業機械, 野菜栽培, 果樹栽培, 肥料, 作物育種, 有機農業特別講義, 作物保護, 農業協同組合論, 食用作物, 花卉栽培, 施設野菜, 植物栄養, 家畜生理, 家畜衛生, 家畜飼養, 家畜栄養, 繁殖生理, 解剖生理, 家畜発生, 細胞工学, 家畜育種, 家畜人工授精論, 飼料・飼料作物, 畜産物利用, 農協法令, 農協信用・共済事業論, 農協経済事業論, 農協福祉・利用事業論, 農協簿記論, 農協会計論, 農協監査論, 農協経営管理論, 農業関係法令, 作物栽培実験, 農業機械実習, 農場実習, 農場管理実習, 集中実習1・2, 有機農業集中実習, 農産物加工実習, 農業技術演習, 有機農業派遣実習, 農業経営体派遣実習, 畜産実験, 畜産物加工実習, プロジェクト学習, 農協派遣実習

食品栄養科

基礎分野

国語表現, 社会倫理, 情報処理基礎, 経済生活, 社会活動, 環境美化, 職業(進路)1・2, 生物, 化学, 食材生産, 入門ゼミ, 外国語表現, 保健体育

専攻専門

公衆衛生, 健康管理概論, フードシステム, 発達心理学, 解剖生理学, 運動生理学, 生化学, 病理学, 生化学実験, 食品学1・2, 食品加工学, 食品衛生学, 食品学実験, 食品衛生学実験, 食品加工実習, 基礎栄養学, 応用栄養学, 臨床栄養学総論, 臨床栄養学各論, 栄養学実習1・2, 臨床栄養学実習, 公衆栄養学, 栄養管理情報システム, 栄養教育論, 食農教育実習, 栄養指導・教育実習, 基礎給食管理学, 給食管理学, 調理学1・2, 献立作成演習1・2, 基礎調理学実習, 調理学実習1・2, 大量調理学実習, 給食管理学実習, 給食管理学校外実習

農業経営科学科（旧課程・平成22年度開講）

基礎分野

国語表現，社会倫理，市民法，経済生活，職業（進路），社会活動，環境美化

専門分野

農業政策論，農産物流通論，食農教育，食品衛生，生活環境論，農作物の安全，消費科学，比較食生活論，保全生態論，有機農法論，海外派遣実習，農業簿記，農業経営分析論，地域営農システム，農業法人，農産加工実習，有機農業派遣実習，農産加工派遣実習，植物栄養，食用作物1・2，野菜園芸，果樹園芸，花卉園芸，特殊作物，施設園芸，農業気象，食品加工，飼料作物，公衆衛生1・2，家畜人工授精論，家畜発生，畜産利用，細胞工学，畜産経営，作物・園芸実験，生産加工販売実習，農業技術演習，農場管理実習，特別集中実習，農産物市場実習，畜産実験，受精卵移植技術実習，食品加工実習，畜産実務実習，資格試験特別講座，卒業論文

生活栄養科学科（旧課程・平成22年度開講）

基礎分野

国語表現，社会倫理，市民法，職業（進路），社会活動，環境美化

専門分野

公衆衛生1・2，健康管理概論，家族関係，社会福祉概論，運動生理学，病理学，食品加工学1・2，フードコーディネイト論，食品衛生学実験，臨床栄養管理論，臨床栄養学実習2，臨床栄養学校外実習，公衆栄養学，公衆栄養学校外実習，栄養教育論1・2，栄養指導・教育実習1・2，給食管理学校内実習，給食管理学校外実習，資格試験特別講座，卒業論文，消費科学，比較食生活論，海外派遣実習，生活環境論

【卒業論文・指導分野 21研究室】

作物，野菜，果樹，農業機械・情報，花卉，作物保護，生物工学，土壌・肥料，酪農・肉牛，農畜産加工，家畜衛生，農業経済，農村社会，農業情報，農業経営・会計，食品科学，栄養，調理・食生活，栄養指導，生化学，給食管理

【取得単位（履修授業時間）数】

（講義：1単位15時間，演習：1単位30時間，実験・実習：1単位45時間）

食農環境科，有機農業コース	80単位（2370時間）
同 アグリビジネスコース	92単位（2460時間）～88単位（2430時間）
食品栄養科	86単位（1845時間）
（旧課程）	
農業経営科学科，作物・園芸コース	184単位（4290時間）～181単位（4155時間）
同 畜産・加工コース	177単位（4155時間）～173単位（4035時間）
生活栄養科学科	180単位（4050時間）～176単位（3810時間）

13. 農場部の概要

実習教育方針：教職員と学生が相協力して、生産から調整・貯蔵（加工）及び利用（販売）に至るまで技術と農業経営を体系的に研究的・実践的態度で探究する場であり、併せて人間形成の場でもある。

実習科目：食農環境科（農場実習，集中実習，有機農業集中実習，農場管理実習など）

食品栄養科（食農教育実習）

（旧課程）

農業経営科学科（生産加工販売実習，農場管理実習，夏期集中実習，特別集中実習）

生活栄養科学科（食物生産実習，夏期集中実習）

試験研究：家畜（牛）排せつ物の堆肥化ならびに処理方法に関する調査研究，施設野菜栽培における完熟堆肥利用とその効果について，など

農畜産物の販売（平成 21 年度実績）

合計 8,357 万円（作物・園芸課 1,891 万円，畜産・加工課 6,466 万円）

① 作物・園芸課（作物係，園芸係）

全体面積 10.2 ヘクタール

水田 354 アール

コシヒカリ，ミルキークィーン，マンゲツモチなど

普通畑 461 アール（うち，150 アール 有機 JAS 認証は場）

露地野菜：キャベツ，ハクサイ，ネギ，ダイコン，ニンジン，ジャガイモ，サトイモなど

果樹園 156 アール

ナシ，ブドウ，クリなど

ビニールハウス 4,500 m²

キュウリ，トマト，イチゴ

ガラス室 661 m²

育苗施設，苗物（パンジーなど）

施設 事務室，実習教室，花卉実習管理棟，収穫調整室，農機具庫，堆肥舎，収納舎

主要農器具 トラクタ，側条施肥田植機，自脱型コンバイン，刎乾燥機，マニユアスプレッダ，トレンチャ，スピードスプレア，ホイールローダ，トラックなど

② 畜産・加工課（酪農係，肉畜係，加工係）

面積 13.5 ヘクタール（内飼料畑 12.0 ヘクタール）

家畜 乳牛 75 頭（成牛 46 頭）

肉牛 45 頭（黒毛和種）

施設 管理室，実習教室，実験教室，農機具庫，飼肥料庫，発酵堆肥舎，サイロ，畜産バイテク室

畜舎 成牛舎，育成牛舎，肉牛舎，黒毛和種繁殖牛舎，繁殖豚舎，肥育豚舎

主要農器具 トラクタ（5 台）

フォーレージハーベスタ，バキュームシーダー，ハイベアラ，ロータリーテッダ，サイドスプレッダー，ロールベアラ，ラッピングマシン，フォーレージプロア，ボトムプラウ，リバーシブルプラス，ロータリー，ディスクハロー，カルチベータ，サブソイラ，ブロードキャスター，バキュームカー，ブームスプレイアー，4 輪トレーラー，シュートワゴンなど